港湾内における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

『最高値』→『直近(10/6-10/27採取)』の順、単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記 令和7年10月28日までの東電データまとめ

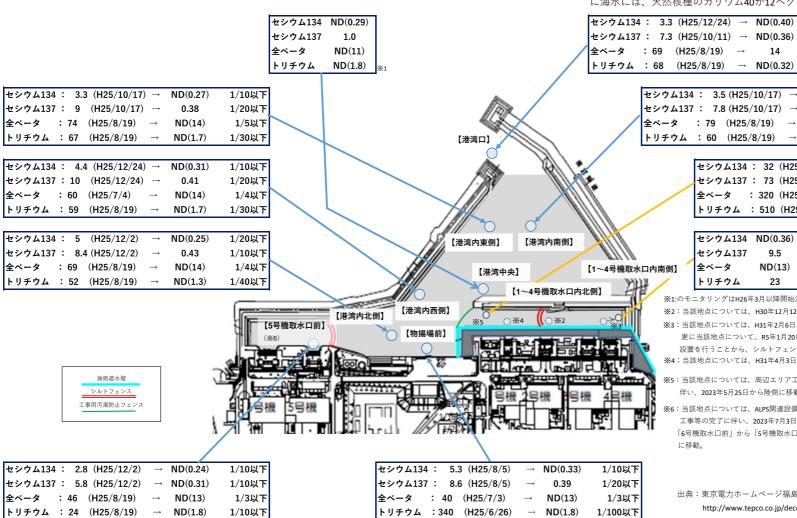
注:全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質(カリウム40、セシウム137、ストロ ンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など)をまとめて測定した放射能濃度である。一般 に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

1/8以下

1/20以下

1/200以下

1/4以下



セシウム134	:	3.5	(H25/10/17)) →	ND(0.30)	1/10以下
セシウム137	:	7.8	(H25/10/17)) →	ND(0.29)	1/20以下
全ベータ	:	79	3 (H25/10/17) (H25/8/19)	\rightarrow	ND(14)	1/5以下
トリチウム	:	60	(H25/8/19)	\rightarrow	ND(1.3)	1/40以下

セシウム134 : 32 (H25/10/11) → ND(0.32) 1/100以下 セシウム137: 73 (H25/10/11) → 1.7 1/40以下 全ベータ : 320 (H25/8/12) → ND(13) 1/20以下 トリチウム : 510 (H25/9/2) 1/200以下

セシウム134 ND(0.36) セシウム137 9.5 全ベータ ND(13) トリチウム 23

※1:のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。

- ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。
- ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。 更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス 設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動(採取地点は東側に約3m移動。)。
- ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。
- ※5: 当該地点については、周辺エリア工事に 伴い、2023年5月25日から陸側に移動。
- ※6: 当該地点については、ALPS関連設備設置 工事等の完了に伴い、2023年7月3日以降 「6号機取水口前」から「5号機取水口前」 に移動。

	法合濃度限度	WHO飲料 水が介ライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

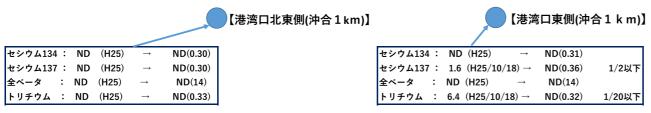
出典:東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果 http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html

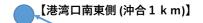
港湾外近傍における海水モニタリングの状況(H25年の最高値と直近の比較)

単位(ベクレル/リットル)、検出限界値未満の場合はNDと表記し、()内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

(直近値 9/29 - 10/27採取)

令和7年10月28日までの東電データまとめ





1/8以下

1/4以下

1/20以下

1/200以下

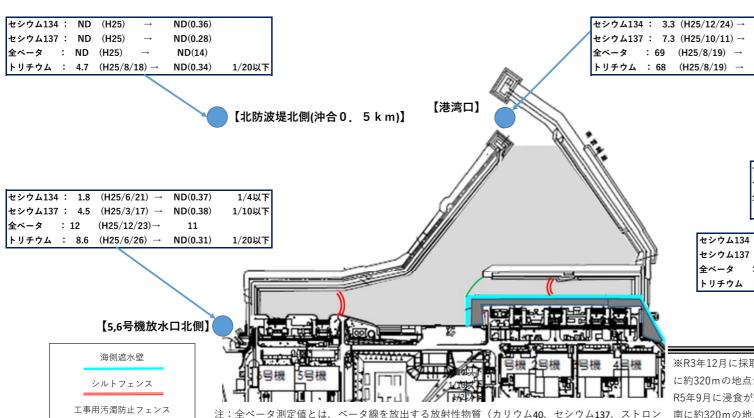
ND(0.40)

ND(0.36)

14

ND(0.32)

セシウム134: ND (H25) → ND(0.29) セシウム137: ND (H25) → ND(0.32) 全ベータ : ND (H25) → ND(14) トリチウム : ND (H25) → ND(0.33)



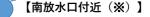
チウム90及び子孫核種のイットリウム90など)をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海

水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

【南防波堤南側 (沖合 0 . 5 k m)】

セシウム134: ND (H25) → ND(0.25) セシウム137: ND (H25) → ND(0.27) 全ペータ : ND (H25) → ND(14) トリチウム : ND (H25) → ND(0.33)

セシウム134: ND (H25) → ND(0.84) セシウム137: 3 (H25/7/15) → ND(0.76) 1/3以下 全ペータ : 15 (H25/12/23) → 7.7 トリチウム : 1.9 (H25/11/25) → ND(0.26) 1/2以下



※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。 R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。

出典:東京電力ホームページ 福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果 http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html